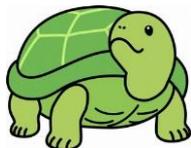


校長室だより



すまいる プラス 1

「S」 + 1



令和4年5月31日

半田市立亀崎小学校
発行者：橋本 寛也

2ヶ月が過ぎました

今年度が始まり、2ヶ月が過ぎました。ちょうど1学期の折り返しの時期でもあります。これからは、梅雨の季節となり、蒸し暑い日が多くなります。そんな季節でも、心の中はいつもスマイルで晴れやかでいたいですね。

さて、前号からの約1ヶ月間の亀小の様子はというと…。ホームページでご覧になった方もいらっしゃると思いますが、学習面や行事面など、一つ一つの活動が行われていきました。4月最終週は、家庭訪問を行いました。GW中には、3年振りとなる潮干祭が開催されました。GW明けには、全学年最高の天気の中、遠足に出かけることができました。また、5月は体力テストも実施しました。各学年の活動や児童会行事など、子どもたちにとって実になる充実した活動を行うことができました。

学校の様子につきましては、なるべくタイムリーにお伝えできるよう更新してまいります。校長室だよりにつきましては、ホームページでお伝えできなかった内容などを盛り込んでいけたらと思っています。今後も、不定期での発行となりますが、ご容赦ください。



4/26~28 家庭訪問

3日間の家庭訪問ありがとうございました。他地区や他校では、家庭訪問を行わない学校もあるなか、亀崎小学校では3日間、しっかりと時間をとって家庭訪問を実施しました。新学期が始まり、ちょうど1ヶ月が経とうというこの時期だからこそ、担任と保護者とがつながるとてもいい機会であると認識しています。保護者の方には、訪問時間を調整していただき、ありがとうございました。限られた時間の中での訪問ではありましたが、対面で話すことで信頼関係づくりにつながったと思っています。

担任も、保護者の皆様と時間を共有することができ、面談を通して、学校と家とでの様子の違いや兄弟・姉妹との関わり、それから昨年までの様子など、このひと月の学校生活だけでは分からない内容を知ることができました。本当にありがとうございました。こうした情報を共有すること、学校と家庭とが連携することが子どもたちにとって大切なことであると思います。今後とも、学校と家庭がよりよい関係のもと、子どもの成長をともに喜び合いたいです。

7月には個人懇談会があります。この1学期間の子ども様の様子を共有する場となります。これからの子どもの成長していく姿を期待したいです。



半田鉄道少年団

5/1に半田鉄道少年団の入団式に参加しました。鉄道少年団とは、少年少女が鉄道を愛し、鉄道知識を身につけ公德心を高めるとともに、団体生活を通じて互いに助けあう心を養い進んで社会に奉仕する健全な心身を育てることを目的としたもので、半田鉄道少年団は昭和52年に結成され、今年で結成45周年となる歴史ある活動団体であります。この鉄道少年団に本校の児童が入団しています。入団している児童に、「どうして入団したの？」と訪ねたところ、満面の笑みで「電車が好きだから…」と答えてくれました。自分の好きなこと、やりたいことに出会うと、心に「火」がつかますね。人はいつ！どのタイミングで！夢中になれるものに出会うかは、人それぞれです。早くから好きなことが見つかり、すでに熱中している子もいれば、今はまだ、何も本気でやりたいことが見つからない子もいるはず。タイミングは人それぞれ！子どもたちがいつ、どんなことに興味をもつのかはわかりません。やりたいことが見つかり、火がつかいたら、我々大人は、思いっきり応援してやるのが大事ではないかと思います。努力を努力とも思わず、夢中になって楽しめる子を一人でも多く育てていきたいと思っています。



潮干祭

令和4年5月3日・4日の2日間に3年振りとなる潮干祭が開催されました。私にとって初めてとなる潮干祭。私自身祭りに参加させていただき、歴史と伝統ある祭りの神事が、目の前で粛々と進められ、歴史と伝統がこうして受け継がれてきたのだと実感いたしました。今のNHKの朝ドラのタイトルの言葉を借りると、まさに「ちむどんどん」いたしたところです。祭りごとを通して、地域で子どもたちを育てていく、地域とともに子どもたちが成長していく亀崎地区であることを感じることができました。

前日の「サヤ蔵」見学では、3年生の子どもたちに丁寧に説明をしていただき、本当にありがとうございました。



亀っこカルタを発見

校長室の書棚の中を整理していたところ、何やら箱に入った物が目についたので、手に取って中を開けてみると、「カルタ」が入っていました。「亀っこカルタ」です。一枚一枚読み札を読むと昔の亀崎小学校の様子をなんとなく頭の中で想像することができました。ふたの裏には、平成八年作成と書かれていました。今から約25年も前のものです。きっと今の亀小の保護者の皆様が小学生だったときに作られたと思われます。昔も今も変わらない思いがカルタから伝わってきました。

